

この画像は、昭和初期に撮影された鶴ヶ城。右側に見える立派な本丸の石垣。左下にある建物は、加比の看板が掲げられ、看板の横には自転車が2台が置かれた茶屋。そして、茶屋の後方には、背炙り山が見える。



「伊太利碑（イワ碑）」記念スタンプ



昭和3年（1928年）の「伊太利碑（イワ碑）」建立当時の新聞記事
「白虎隊とイワのファシ党とは、一脈相通じるものがある」（ムツリニ）

- ・ 1914 (大正 3) : **第一次世界対戦** スパイン風邪
- ・ 1923 (大正 12) : 関東大震災
- ・ 1928 (昭和 3) : **伊太利碑建立**
- ・ 1929 (昭和 4) : 昭和恐慌
- ・ 1931 (昭和 6) : 満州事変が勃発。日本が軍国主義へ。
- ・ 1932 (昭和 7) : 五・一五事件
- ・ 1933 (昭和 8) : 国際連盟を脱退し、国際的な孤立。
- ・ 1936 (昭和 11) : 二・二六事件
- ・ 1937 (昭和 12) : **日中戦争**
- ・ 1940 (昭和 15) : **日独伊三国同盟**
- ・ 1941 (昭和 16) : **真珠湾攻撃**
- ・ 1945 (昭和 20. 3) : 東京大空襲
- ・ 1945 (昭和 20. 8. 6) : 広島原爆
- ・ 1945 (昭和 20. 8. 9) : 長崎原爆
- ・ **1945 (昭和 20. 8. 15) : 終戦**

人物	生年	昭和 3 年の年齢	状況
東条英機	1884	44 歳	陸軍内で台頭
ムッソリーニ	1883	45 歳	イタリア首相・独裁体制確立
ヒトラー	1889	39 歳	ナチ党拡大期（政権前）

この絵葉書が使われた時期は、日本全体が不穏な空気と軍靴の足音に包まれ始めた緊迫の時代。鶴ヶ城址の片隅で、カルピスの看板を掲げて静かに営業していた茶屋と、店先にポツンと置かれた自転車は、激動の昭和史へと飲み込まれていくどこか哀愁を帯びた「最後の平穏な日常」を切取った「一枚の絵葉書」に思える。



昭和 2 年のカルピスの広告